

Füssen · Bad Faulenbach · Hopfen am See · Weissensee

# フュッセン

王の地にある町



Füssen



夢か現実か？  
その両方が存在する  
場所がひとつありま  
す。王家の魔力と独  
特の民俗、雄大な山  
脈とゆるやかな丘陵、  
豊かな文化と目を見  
張るような自然。  
この場所をご自分で  
見つけだしてみたく  
ださい。それは同時  
にバイエルン州で最  
も美しさを誇る場所  
の発見でもあるでし  
ょう。  
フュッセンでは皆様  
のお越しをお待ちし  
ています。ノイシュ  
ヴァンシュタイン城  
へはフュッセンから  
わずか4kmの距離  
です。



# 城と宮殿

王家の土地。フュッセンを取り囲む類いなき土地は支配者たちや王たちを何世紀にもわたって魅了してきました。その証拠に60をも超える城、城跡、宮殿が残されており、世界で知られる伝説のバイエルン国王ルートヴィヒ二世（1845～1886年）の最後の居城ノイシュヴァンシュタイン城も含まれています。

道標は「Königsschlösser」（王の城）と名付けられています。



ノイシュヴァンシュタイン城中央門

## ノイシュヴァンシュタイン城 & ホーエンシュヴァンガウ城

世界中で有名なノイシュヴァンシュタイン城は、バイエルンの「童話の王様」とも呼ばれるルートヴィヒ二世が中世の騎士の城を再現するという夢をかなえました。ここからわずか数百メートル離れたホーエンシュヴァンガウ城も見どころです。

ふたつの城はホーエンシュヴァンガウ村を見下ろすようにそびえ立っており、フュッセン駅からはタクシー（固定料金）または路線バス（30～60分おき）にて5分で行けます。連邦道B17沿いのハイキング・サイクリング兼用道路を歩くと約1時間、自転車では約20分かかります。夏の間はフュッセン駅で自転車貸し出しを行っています。

レンタカーの場合は連邦道B17と分岐する州道（道路標識Königsschlösserあり）を通ってホーエンシュヴァンガウへ入ると有料駐車場が何か所もあります。

ホーエンシュヴァンガウのメインストリート（Alpseestrasse 12）にあるチケットセンターではノイシュヴァンシュタイン城とホーエンシュヴァンガウ城の入場券が買えます。いずれも城では入場券を購入することはできませんのでご注意ください。入場券にはそれぞれのガイドツアー開始時間が記載されており、時間は必ず厳守してください。

ノイシュヴァンシュタイン城へはホーエンシュヴァンガウ村から道標に従っ

オリジナル：  
ノイシュヴァンシュタイン城

童話の城について話している人がいたら、それはノイシュヴァンシュタイン城のことでしょう。この城は1869年から1886年にかけて建設され、そのみごとな風景ととてつもない内装は世界でも比類がなく何百万人もの人々が訪れて来ます。

### 開館時間

10月1日～3月31日  
10:00～16:00  
4月1日～9月30日  
9:00～18:00  
9月初めまで  
木曜日は20:00まで  
休館日  
1月1日、謝肉祭の火曜日  
12月24日、25日、31日

アンコール：  
ホーエンシュヴァンガウ城

あまり知られては 않지만、訪れる価値のあるホーエンシュヴァンガウ城。特に19世紀ビーターマイヤー様式のオリジナル家具とシュヴァンゼー公園はどのような旅行をする場合も必見です。

### 開館時間

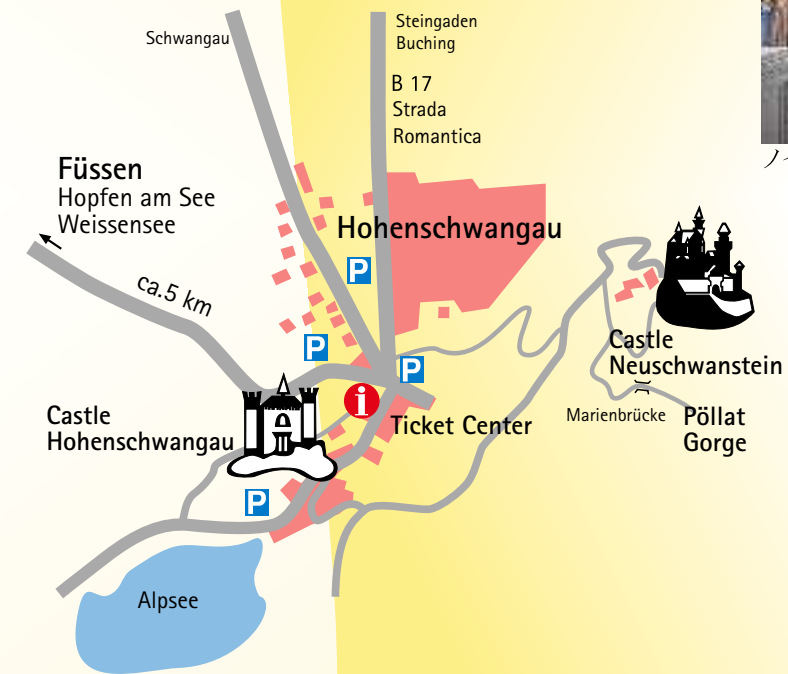
10月1日～3月31日  
10:00～16:00  
4月1日～9月30日  
9:00～18:00  
9月初めまで  
木曜日は20:00まで  
休館日  
12月24日

両方の城ともに入場券はホーエンシュヴァンガウ・チケットサービスでしか購入できません。

Hohenschwangau Ticket-Service:  
Alpseestrasse 12  
D-87645 Hohenschwangau  
Tel: +49-(0) 8362-930830  
Fax: +49-(0) 8362-9308320  
E-Mail: info@ticket-center-hohenschwangau.de



ノイシュヴァンシュタイン城は滝のどろくペラート溪谷を見下ろす場所に位置しています。フュッセンからは5kmの距離。



ルートヴィヒ二世が育ったホーエンシュヴァンガウ城は、フュッセンからはわずか5kmの距離。



バイエルン王ルートヴィヒ二世



ノイシュヴァンシュタイン城 王座の間



ノイシュヴァンシュタイン城の細部



城のロマンス



# 観光

フュッセンー 休暇の気分になったらいつでもいらしてください。位置：バイエルン南部に位置し休暇に好まれるロケーション。  
 高度：800メートル以上。  
 歴史：1000年を超える。  
 特徴：波瀾に富む過去、ロマンティックな現在、ローマ街道、バイエルン王の城、中世のハートと若々しい雰囲気。

これがアルゴイ地方で二番目に古い歴史を持つ町で、ローマ帝国の城塞“フェティプス”の基礎壁にはホーエス城が建てられています。東アルゴイ地方の愛すべき山の町は訪れる人を手厚くもてなすので、町はロマンティックに保たれています。どの季節にもびっぴりのすてきなお勧めです。

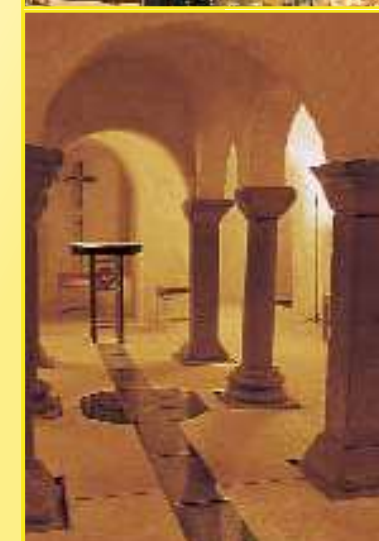
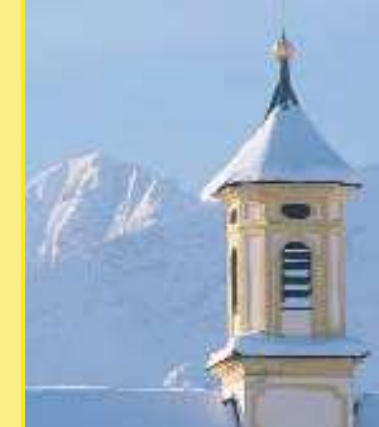
一目惚れ！フュッセンは間違いなくアルゴイ地方で最も美しい場所に位置しています。狂王ルートヴィヒ二世はこの地を世界中に知られる“王家の地ケーニヒクスヴィンケル”としました。童話の城であるノイシュヴァンシュタイン城、ホーエンシュヴァンガウ城、リンダーホーフによって、彼は見事な自然に対して王位を与えたのです。町の中でこぼこ道-失礼しました、由緒あるヴィア・クラウディアを歩いているといたるところで豪華な貴族の館や、中世の路地、魅力的な広場などに会おうでしょう。  
 バロック式教会堂 - なかでも最も美しいのは町の創立者にちなんで名付けられた”聖マンク”-とホーエス城内部にあるバイエルン州立絵画館分館では千年をへた歴史あるみごとな文化財をご覧ください。壁の向こうを見ていると歴史的な感銘を受けるでしょう。じっくりと見ると隅や切妻や窓にはトリックの絵が施されていたことがわかるでしょう。なおかつての修道院であった聖マンクは現在一般に公開され、フュッセン市立博物館となっています。

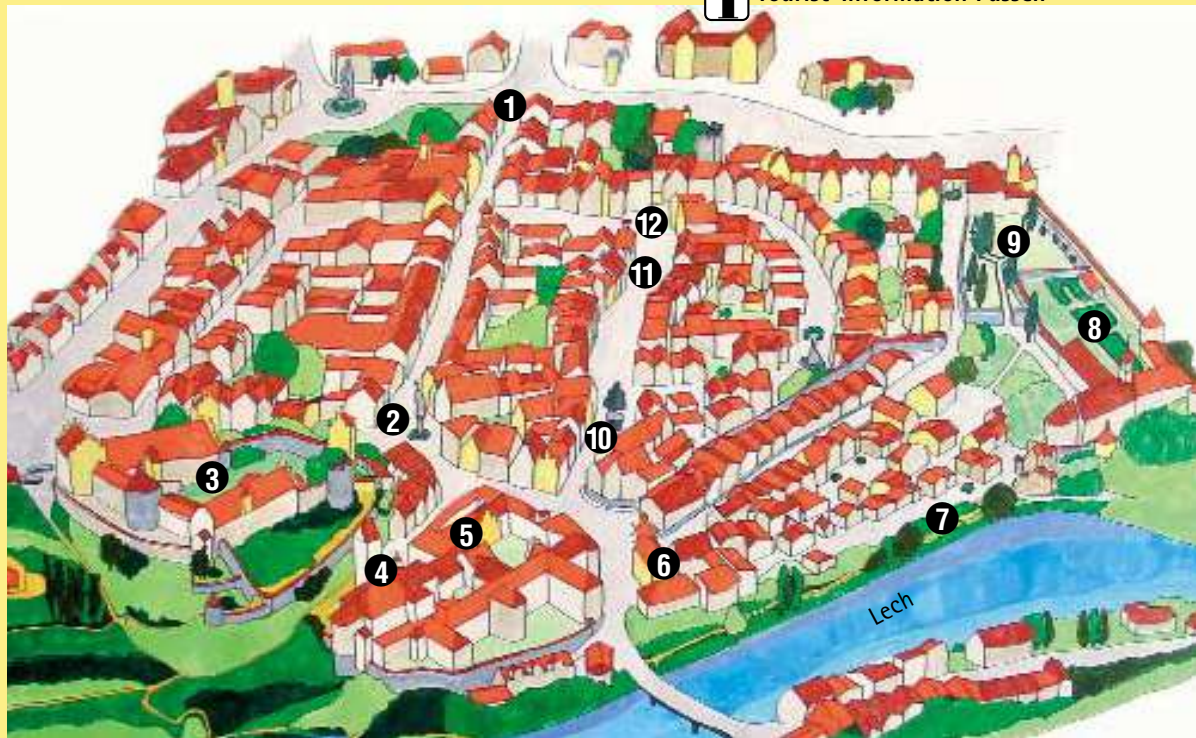


門、塔、円頭石舗装など、町の歴史は現在もあちこちに残っています。16世紀の町の外壁の一部は良い状態でまだ残っています。



町とたわむれる。バロック様式の教会の塔、細い路地、高い切妻、郷愁をそそる街角。いつの時代にも堂々たるバイエルン・アルプスという舞台、そして東アルゴイ地方を取り囲む比類のない自然はときには積もった雪の下で夢うつつであったり、秋には紅葉していたり。どの季節にも独特の魅力があります。芸術、文化、民俗、サマーコンサート、中世騎士劇、クリスマス市。聖マンクのバジリカのクリプタ（聖遺物安置所）にはバイエルン最古のフレスコ画が、聖アンナ礼拝堂には有名な『死の舞踏』があります。丸い建物（右の写真）は“ペードル”と呼ばれ、かつてのベネディクト会修道士の入浴場でした。





## 市内ツアー

さまざまな歴史の時代が調和の取れたアンアンブルとして出会い、それはわくわくするような発見の旅となるでしょう。どこから出発するかは問題ではありません。大小かわらず見どころはどこにでもあり、市内観光ルート（City Tour）の標識で表示されています。



### ① ライヒェン通り Reichenstrasse

旧市街のメインストリート。15世紀と16世紀の市民の家屋が通りにぎっしりと立ち並んでいます。アウクスブルガー通り同様に、部分的にヴィア・クラウディア・アウグスタと重なっており、ここではまさに文字通りローマ人の足跡をたどることになります。ライヒェン通り中程にある聖ニコラウス教会ヨハン・ヤコブ・ヘ

アコマーの設計により建てられ、彼の甥ヨハン・ゲオルク・フィッシャーが1718年に完成させました。この教会の大祭壇を見るだけでも寄る価値があります。この大祭壇はヴィース教会を建てたことで有名なドミニクス・ツィンマーマンが造りました。



### ② 噴水 Stadtbrunnen

ライヒェン通り上方の終わりにある噴水にはフュッセンの守護聖人であったマグヌスが立っています。噴水のまわりの路面舗装には細い金属テープが埋め込まれており、約2000年前に古代ローマ人が建設した地中海からアルプスまでを結んでいたローマ街道、ヴィア・クラウディア・アウグスタが通っていたことを示しています。



### ③ ホーエス城 Das Hohe Schloss

13世紀末にバイエルンの大公ルートヴィヒ厳格公が建築を開始しました。フュッセンがアウクスブルク高参事会に担保とされた後、真っ先に拡張され、1500年頃司教フィリードリヒ・フォン・ツォレルン二世により改造されました。その結果は現在でも目をみはるほどです。ドイツ国内で重要な後期ゴシック様式宮殿のひとつに数えられ、中庭はまるで絵のようであり、ファサードのトリック画は比類がありません。北側の翼部にはバイエルン州立絵画館分館と市立絵画ギャラリーが入っています。後期ゴシックおよび19世紀の芸術作品の展示を見るために訪れる価値があります。印象深いのは室内そのものでもあり、たとえば騎士の間には豊かな彫りの後期ゴシック様式の格天井があります。



### ④ ⑤ 聖マンク修道院およびバジリカ Kloster und Basilika St. Mang

ベネディクト会修道院の歴史は聖マグヌスの時代までさかのぼります。彼は8世紀に宣教師兼いわゆる“発展途上地援助奉仕員”としてフュッセンに赴任し750年頃亡くなりました。修道院は18世紀初頭、ヴェネツィアで修業したヨハン・ヤコブ・ヘアコマーによって現在のイタリア・バロック様式建物に改修されました。豊かな装飾がほどこされた王侯貴族の広間では50年間にわたって有名な王侯貴族の間コンサートが開かれています。図書室と食堂は卵形ののぞき穴“でつながつており、精神的および肉体的な栄養の統一性を思い起こさせます。

### 修道院付属聖堂の大祭壇

(1722年頃)にはアントン・シュトルムによる彫像が見られるほか、貴重な聖マグヌスの遺品等も見ることができ、1572年に銀にはめ込まれた聖マグヌスの杖もあります。聖マグヌスは害虫に対する守護聖人であったため、彼の杖は頻繁に近隣の町や、さらには南チロルや東スイスからも被害撲滅のための耕牧地の行列に駆り出されていました。クリプタ（聖遺物安置所）はフュッセン最古の建物であり教会の原形でもあります。ここで聖マグヌスは永眠したとされています。実際にこの建物は建築史的に聖人の時代にさかのぼり、バイエルン最古の壁画

(1000年頃、教会ガイドツアーでのみ見学可能。)が存在しています。アンナ礼拝堂の基礎も起源は9世紀までさかのぼります。騎士や

大修道院長たちの数多くの墓地のほかには、ヤコブ・ヒーペラーの有名な『死の舞踏』があります。1602年に完成したこの作品はバイエルンでは最古の『死の舞踏』であり生命のはかなさが印象的に描かれています。「選択の余地はない、踊らなくてはならないのだ。」とのリフレインのもと20枚の絵で死は金持ちも貧乏人もあらゆる身分の人々を最後の舞踏へと導いています。（見学はフュッセン市博物館入場か、教会ガイドツアーでのみ可能です。）

### フュッセン市博物館。

Museum der Stadt Füssen 修道院の豪華なバロック様式の内部やアンナ礼拝堂は、かつての聖マンク修道院内にあるフュッセン市博物館に入場のうえ見学ができます。歴史ある空間では1000年にわたる修道院の歴史をたどることができ、古典楽器の重要な収集もご覧いただけます。なんとといってもフュッセンはルネサンス時代、リュートとバイオリン製造中心地のひとつであり、過去の納税リストを見ると1666年には家具職人よりもリュート製造職人のほうが多かったことからわかります。



### ⑥ 聖霊シュピタル教会 Heilig-Geist-Spitalskirche

豪華な装飾の聖霊シュピタル教会の場所にはかつて後期ゴシック様式の教会がありました。1733年にこの教会が焼け落ちたため、1749年フランツ・カール・フィッシャーによって再建されました。ロココ様式ファサードのみごとなフレスコ画には大火山の時に手助けする聖フロリアンと、巨大なレヒ川では当然のことながら必須となるいかだ師の守護聖人の聖クリストフォルスが描かれています。



### ⑦ レヒ川沿岸路 Lechuferrweg

上流方向にはバート・ファウレンバッハ地区、下流方向にはフォルッゲン湖があります。川沿いに歩くとレヒ川の美しい風景が次々と現れてきます。この川には19世紀まで重要な交通および通商路としていかだが行き交っていました。



### ⑩ パン市場 Brotmarkt

現在のパン市場付近に中世の町の起源があったと推定されています。現在ではそこに立っているリュート製造職人噴水は、リュートとバイオリン製造の町フュッセンが持つ歴史の意味を思い起こさせてくれます。



### ⑪ ブルンネンガッセ Brunnenengasse

魅力あふれるブルンネンガッセ18番地にはシュヴァーベンで最も有名なバロック彫刻家アントン・シュトルムの家があります。数あるなかでもヴィース教会の神父たちやオットボイレンの皇帝の広間にある彫刻を生み出したことで知られています。砂岩レリーフは巨匠みずからの作品で、フュッセンでの彼の人生と創作の証となっています。

### ⑨ セバスチャン墓地 Sebastiansfriedhof

当然のことながら景観保護指定されています。かつての町の外壁の一部と歴史ある墓石とが聖セバスチャン墓地教会（1721年）のまわりに牧歌的な絵を作り出しています。内部にある死の描写は死の遍在、とりわけ大規模な伝染病がはやっていた時代を思い起こさせます。

### ⑫ シュランネン広場 SchrannePlatz

かつては町の穀物市場として使われていました。後期ゴシック様式の穀物館は現在では市場用ホールとなっており、市民が集う場として人気があります。その向かいにあるかつての役所は現在コルピング寮として使われています。



**ケースパッツェン**  
Kässpätzlen  
アルゴイ郷土料理  
”バイエルンのヌードル”をチーズと和えて  
フライドオニオンを添えて。



**大根Bierrettich**  
塩をふった大根を好み  
でアサツキをのせたパ  
ンとサラダと一緒に。



**ソーセージサラダ**  
Würstsalat  
ソーセージを酢と油で  
和えたものに、野菜サ  
ラダを添えて。



**粗挽き焼きソーセージ**  
Rostbratwürste  
ザワークラウトに焼い  
た豚肉ソーセージをの  
せて炒めジャガイモを  
添えて。



**祝日のスープFesttagsuppe**  
千切り野菜、レバーシュベツレ  
(牛肉)、フレードレ(スープ用  
ヌードル) マウルタッセン  
(餃子風) 入り。

## 食の体験 本場アルゴイのごちそう



**シュヴァインハクセSchweinshaxe**  
焼いた豚肉にゼンメル団子とキャベツサラダを添えて。

**アップフェルシュトルーデル**  
Apfelstrudel  
リングを甘いパイ生地で包  
んだもの。パニライスク  
リームか生クリーム、ある  
いは両方を添えて。



**チーズケーキKäsekuchen**  
クワルクをたっぷり使った  
甘いお菓子。



**白ソーセージ**  
Weisswurstessen  
ブレツェルと甘マス  
タードを添えた白ソー  
セージ(子牛肉)に  
は、白い小麦ビールが  
ぴったり。



**オバツダObazda**  
いろいろな種類のチー  
ズをキャラウェイシー  
ド、パプリカ、タマネ  
ギ、バターと混ぜたも  
のに地方ごとのサラダ  
を添えて。



**クラウトクラブフェン**  
Krautkräpfen  
ヌードルとザワークラ  
ウトを炒めたもの。



**バイエルンの鴨**  
Bayerische Flugente  
焼いた鴨には、じゃが  
いも団子と紫キャベツ  
を付けあわせることが  
多い。

## ロマンティック街道のバスTouring-Bus

毎日フランクフルト・フュッセン間を Deutsche Touring社のバスが運行しており、快適に乗り換えなしでドイツで最も美しい旅行街道に沿ったすべてのハイライトへ行けます。フュッセン着毎日19:55、フュッセン駅発毎日8:00 各停車地での途中下車も可能。自転車の運搬も可能。

**予約: Deutsche Touring GmbH**  
Tel. ++49 (0)69 7903 50 Fax ++49 (0)69 7903 156  
E-mail: service@touring.de

またはフュッセンの旅行代理店で  
**Reisebüro Graf City Center Kaiser-Maximilian-Pl. 3,**  
Tel. ++49 (0)8362 6056 Fax ++49 (0)8362 6050

## ロマンティック 街道

ロマンティック街道はドイツでも最も人気のある観光ルートのひとつです。全長わずか350kmの街道には、観光スポットがまるで首飾りのビーズのように次から次へと連なります。



**フュッセン・カイザーフェスト**  
毎年8月中旬にフュッセンでは町の歴史が蘇るのは、3000人におよぶ参加者が盛大に中世のお祭りを祝うときです。3日間にわたるカイザーフェストには、旧市街での歴史パレード、騎士の馬上試合、バンド、曲芸師、中世の市、ホーエス城での騎士のキャンプなどを見に国内および国外から人々が訪れます。  
2004年のスケジュール:  
8月13日~15日  
(2005年もほぼ同時期)  
詳細:  
www.fuessen.de  
www.kaiserfest.de



**ローテンブルク**  
中世の面影が残る小さな町は訪れる人のすべてを魅了します。たとえば町を囲む城壁は今も保存されており、ゴシック様式およびルネッサンス様式の切妻造りの建物が加わり完璧な舞台の出来上がりです。  
(約250km)



**ヴィース教会**  
ロココ様式のヴィース教会(1746~1754年)はユネスコ世界文化遺産に指定されており、どのような旅行をする場合も必見です。光が氾濫する屋内で陽気さと敬虔さが組み合わさること以上に美しいものはほとんどないのですが、頻繁に行われるコンサートにおいてもそれをお楽しみいただくことができます。(約25km)

**観光事業共同体ロマンティック街道**  
Touristik-Arbeitsgemeinschaft  
Romantische Strasse  
Waaggässlein 1  
91550 Dinkelsbühl  
Tel: +49(0)9851/90271  
Fax: +49(0)9851/90281  
info@romantischestrasse.de  
www.romantischestrasse.de



## ハイキング& ウォーキング



ロマンティック街道をサイクリング、7つの湖でのウォータースポーツ、ドイツで最も大きな自然保護地区のひとつアマー山脈でのハイキング。フュッセンではハイライトが保証されています。

湖やウォーキング

# お勧めツアー

ノイシュヴァンシュタイン城と保養地フュッセンを囲むバイエルンのケーニヒスヴィンケルはハイキング天国です。高い山脈の小道、丘陵の続くプレアルプスを抜けるパノラマ道、多くの湖周辺のほとんど平らなルートなど、ハイキングをするには際限ない可能性がそろっています。王様の田舎ケーニヒスヴィンケルでハイキングをするのに最適な季節は、草原と山腹が花のじゅうたんに変貌する5月と6月か、快適な気温と好天が長期間続く秋9月と10月でしょう。

次のようなハイキングルートはケーニヒスヴィンケルでも最も美しい場所で、徒歩時間のみで1時間半から2時間かかります。

### ツアー1

フュッセン観光局を起点にセバスチャン通りを抜けてレヒ川へ。レヒ川沿いを下流に進むとフォルッゲン湖畔のフュッセン船着き場へ。毎日数回船が運行しており、フォルッゲン湖を渡ってシュヴァンガウ・ヴァルテンホーフェンへ行くことができます(アルプス、ノイシュヴァンシュタイン城とホーエンシュヴァンガウ城、フュッセン旧市街のシルエットのパノラマ展望。格好の被写体です!) シュヴァンガウ・ヴァルテンホーフェンからはフォルッゲン湖畔のシュヴァンガウ一周ルートを南下し、シュヴァンガウ・ホルンを通ってフュッセンへ戻ります。



### ツアー2

フュッセン観光局を起点にセバスチャン通りを抜けてレヒ川へ。ケーニヒ・ルートヴィヒ橋と平行する歩行者用橋を歩いてレヒ川を渡り、城とホーエンシュヴァンガウ村方面に向かって左折します。この道の下を過ぎたらホーエンシュヴァンガウ村まで歩きます。ホーエンシュヴァンガウ村からは道標に従ってノイシュヴァンシュタイン城とホーエンシュヴァンガウ城まで行くことができ、写真撮影にぴったりのマリエン橋(ノイシュヴァンシュタイン城へのすばらしい眺め)とユーゲント(アルプゼーとシュヴァンゼーにはさまれたホーエンシュヴァンガウ城のパノラマ展望)。ふたつの城の入場券はシュヴァンガウのチケットセンター(住所: Alpestrasse 12)のみでしか買えませんのでご注意ください。帰りは同じルートか、ホーエンシュヴァンガウ観光局から路線バスで。



### ツアー3

フュッセン駅から路線バスで5km北西の集落ホプフェン・アム・ゼーへ。ウーファー通りのホプフェン観光局で下車。ここから少し歩くと湖畔に平行したホプフェンゼー一周ルートに着きます。右折して一周ルートの西へ向かいます。このルートでは変化に富んだ平坦な、草の茂る地帯、草原地帯、小さな森林などを通して、約1時間半後にホプフェン・アム・ゼーに戻って来ます。ホプフェンゼーの北西側湖畔からはケーニヒスヴィンケルを囲むアルプス頂上のすばらしいパノラマ展望をお楽しみいただけます。



### ツアー4

雄大な景色の山での体験: フュッセンから車でわずか10分間、テーゲルベルク・ロープウェーがアルプスの世界へとさらって、ケーニヒスヴィンケルの山脈、城、湖のまるで夢のような眺めていただけます。フュッセン駅から路線バスでホーエンシュヴァンガウへ、さらにテーゲルベルク・ロープウェー乗り場まで向かいます。8~10分間ほど1720メートルの高さを漂うとプレアルプスまで眺めを堪能できます。ロープウェー乗り場のパノラマレストランには広いサマーテラスがあり、南側のアマガウアーとレヒターラーの山頂が眺められます。乗り場のすぐ隣ではハングラライダーとパラグライダーが飛び立つところを観察できます。登山道具を持った経験者であればアホルンラウトヴェークを通して2~2時間半でベルクガストハウス・プレケナウまで下り、山小屋バスでホーエンシュヴァンガウ村まで行くことができます。ホーエンシュヴァンガウ観光局前で路線バスに乗り換えてフュッセン駅まで戻ります。経験者以外はロープウェーで下りてホーエンシュヴァンガウ村まで約30分間歩き、ホーエンシュヴァンガウ観光局前からフュッセン行き路線バスに乗るか、あるいはロープウェーで下山してすぐにバスに乗ると良いでしょう。



# 王の地



フュッセン近郊  
バイエルンが最も  
美しいところ。

- ツアー1
- ツアー2
- ツアー3
- ツアー4



## 往路

BAB (=アウトバーン) A7  
ウルム・ケムプテン間を終  
点まで。フュッセンまで  
18km。B (=連邦道) 309、  
B 310、B 16、B17 (ヴェル  
ツブルクとフュッセンを結  
ぶロマンティック街道)

## 空港

アウクスブルク空港  
(約110km)

中央駅へのシャトルバス  
フュッセン行き電車は  
1時間おき

ミュンヘン空港

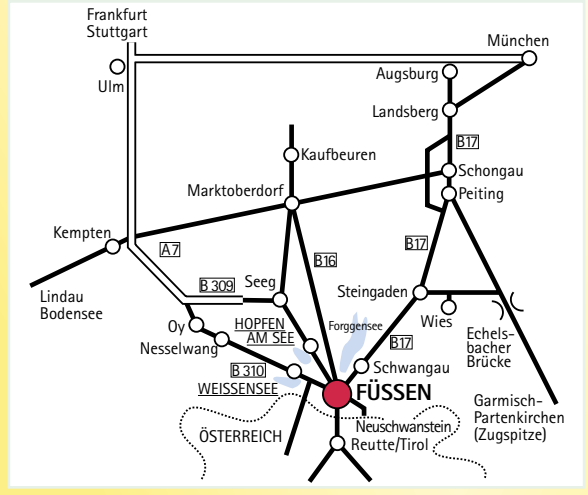
(約160km)、Sバーン  
で中央駅へ行き、乗り換  
えフュッセン行き電車は  
1時間おき

シュトゥットガルト空港  
(約230km)

Sバーンで中央駅へ  
アウクスブルク経由  
フュッセン行き電車は  
1時間おき

インスブルック空港  
(約100km)

チューリヒ空港  
(約270km)



## 24時間サービス電話： 録音メッセージによる案内

城に関する案内：  
ドイツ語・イタリア語  
Tel: +49-8362-9385-30

城に関する案内：  
英語・日本語  
Tel: +49-8362-9385-31

観光局営業時間：  
ドイツ語・英語  
Tel: +49-8362-9385-32

宿泊予約：  
ドイツ語・イタリア語  
Tel: +49-8362-9385-33

宿泊予約：  
英語・日本語  
Tel: +49-8362-9385-34



## 国際電話番号

+49-8362/93 85-0 · Fax 93 85-20



Füssen Tourismus  
Kaiser-Maximilian-Platz 1  
D-87629 Füssen im Allgäu  
Telephone +49-8362-9385-0  
Fax +49-8362-9385-20  
www.fuessen.de  
tourismus@fuessen.de